



北島酸素株式会社
代表取締役社長 篠原 宏子

1998年、北島酸素株式会社代表取締役役に就任。その後いち早くISO 14001を認証取得した。2008年には豪州のネプチューン社と技術提携を結び、2015年にはミャンマー支店を開設するなど海外進出にも挑戦。先代からの社訓「堅実第一」をモットーとしつつ、視野拡大にも積極的に取り組む。



医療用ガスや高圧ガス容器的な安全な取扱い方法について、病院スタッフを対象にセミナーも行った

かつては酸素ボンベの管理も満足に行われていなかった。北島酸素では医師に日常点検を指導。これにより毎日の点検で清潔に保たれるようになった



PROJECT REPORT

ODAを活用した中小企業海外展開支援

独自の医療用酸素ガスシステムが ミャンマーの病院の衛生・安全問題を解決

高圧ガスの製造・販売を行う北島酸素株式会社(徳島市)では、医療用酸素ガスを適正管理する「北島ROCシステム」の導入を徳島県内各地で進めている。同システムの海外展開に向けた「ミャンマー国における安全・高品質・衛生的な医療用酸素ガスの供給システム構築に係る案件化調査」をJICAに提案し、2015年度の中小企業海外展開支援事業に採択された。

酸素ガスの製造から使用まで トータルでモニタリング

北島酸素は医療用・工業用ガスの製造・販売、在宅用酸素ボンベの開発、ガス工事などを行う会社である。1952年の創業直後は、日本国内が高度経済成長期だったこともあり、産業用高圧ガスが主力製品だった。その後、社会の変化や技術革新によってガスの用途が広がるにしたがい、次々と新しい製品やシステムを開発してきた。

そんな北島酸素が独自に開発したシステムのひとつが、今回の案件化調査でミャンマーへの導入を提案した北島ROC(Responsible Oxygen Cycle)システム。医療酸素ガスの製造から供給、患者が使用するまでをト

ータルでモニタリングするというものだ。

このシステムは、衛生・安全基準を満たした「酸素ボンベ」、その品質管理を行う「検査機材」、各モジュールに対応して配置する「有資格者」から構成される。これにより、24時間365日体制で医療ガスを安定的に供給することができ、現在では遠隔地や在宅医療の現場で広く活用されている。

同社ではシステム開発後、「途上国の医療現場で活用できないか」と考えるようになった。導入を検討したのが東南アジアのミャンマーだ。2011年の民主化を受け、保健医療体制の整備と向上が国をあげて進められるようになったこともあり、同社では2013年よりミャンマーの医療事情の調査を開始。その結果、医療用高圧ガスに関

れた。しかも病院から工場や販売店に対して品質・安全・衛生面の問題点が共有され、病院と企業がともに事態を改善するという波及効果も見られた。

調査を足掛かりにミャンマーの 医療レベルの向上をめざす

北島酸素では2013年にミャンマー事業を開始して以来、海外事業部を中心に事業にあたりてきたが、今回の案件化調査には他部門のスタッフも初めて参加。これにより国内業務スタッフにもグローバルな視野が育まれるなど、大きな変化が見られたという。

事業展開にあたってはJICAのサポート体制を活用。現地関係政府機関との連絡などは、中小企業にとっては難しい作業になるが、JICA本部やJICA四国、JICAミャンマー事務所からの助言を参考に進め、無事に調査を終えることができた。

同社では今回の調査をもとに、ミャンマー全土で北島ROCシステムや日本発の医療ガス計画の導入を進めることをめざしている。また調査では、価格差に起因して酸素ガスの入手が困難な地域があることも確認されたため、これら医療用酸素の地域格差の解消も目標に掲げている。ミャンマー全土の患者が高品質で安全な酸素を使える日を夢見て、同社では北島ROCシステムの普及のための検討を継続している。



調査を行った病院の新生児集中治療室。以前は酸素ボンベが乱立し、転倒防止策もとられていなかった。北島ROCシステムの導入後、安全・高品質・衛生的な管理が確立された

独立行政法人 国際協力機構 四国支部 (JICA 四国)

JICA 四国は、四国4県の企業と開発途上国を結ぶ拠点です。中小企業の皆様の海外展開を支援することで、途上国の開発課題の解決と地域経済の活性化を目指しています。四国は人口・経済規模から、日本全体での標準的な立ち位置は3%貢献といわれますが、中小企業海外展開支援事業における採択件数(18件)はそれ以上の実績を示しています。採択案件では農業と防災が多く、地場産業で育まれたユニークな技術やノウハウが活用されています。このほか高齢化・人口減少が進む四国地域の遠隔医療技術、降水量が少ない瀬戸内地域の水管理技術、自然を生かした再生可能エネルギー技術、四国で

成長したニッチトップ産業の技術など、今後一層の応募が期待されます。四国で培われてきた製品・技術は、その優位性を途上国でも必ず発揮できると信じ、JICA 四国では、意欲のある地域中小企業の挑戦を応援しています。海外展開に関心と意欲をお持ちの企業の皆様、お気軽にお問合せください!

所在地：香川県高松市番町1-1-5
ニッセイ高松ビル7階
お問合せ TEL：087-821-8824
URL：http://www.jica.go.jp/shikoku/



JICA 四国
支部長 高橋 政俊
課題先進地域といわれる四国ですが、皆様が開発した技術や経験は途上国にも適用できるものが数多くあります。JICAがご支援しますので海外進出に挑戦してみませんか。

る法令が整備されておらず、ボンベの品質や管理状況が不十分であることがわかった。加えて、医療スタッフやガス関連業者の医療用ガスに対する知識も乏しいことが確認された。

ただしこれらは、あくまでも同社が独自に行ったヒアリング調査に基づくものである。そこで、より詳細な調査をすべく、JICAの海外展開支援に応募したというわけである。

2015年10月から8カ月におよんだ調査では、現地の病院の衛生状態は決して良好とはいえず、酸素吸入に用いる加湿びんのフィルターにカビやコケが付

北島ROCシステムの導入で 医療現場の問題点を解消